

22年3ヵ月を経て

中島薬局は、平成3年12月に開局し、この4月で創業から22年3ヵ月を過ぎたわけです。(株)中島薬局第17期中の平成23年12月に創立20周年を迎える、その二十歳の誕生日を祝ったのですが、その後の推移は予期せぬ出来事の連続で、当初の計画は大きな変更を余儀なくされました。

とくに、第18期(平成24年10月～25年9月)中の大きな変動は記憶に新しいところです。主に事務スタッフの大幅な不足(大量退社)、(株)中島薬局の本拠地であつたアップルランドの移転問題、アップルランドのリニューアルと中島薬局存亡の問題、その閉鎖・仮店舗営業・新中島薬局開設への途。そして、今般の調剤報酬の改定と消費税増税対策など。

この間の激動の経緯こそ、今後の新たな10年、20年の(株)中島薬局の歴史にとっての画期であり、その詳細が記録として、また教訓として残されるべきものでしょう。

「会社の総仕上げ」「リ・スタート」「会社の成長戦略」と

は、そうした幾多の困難な状況を乗り越えてきた会社が、今後さらに存続・発展していくために見出した出発点であり、重要な道標なのです。

NBCPの策定に当たって

NBCPは中島薬局業務継続計画の略称です。一般的なBCPが主に災害やテロなどの危機事象への対応を考えているのに対し、NBCPは、私たちの日々の地道な実践や努力が会社(地域や社会ともつながる)の存続・発展に結びつくような、そのような独自な、全員参加のBCPにしたいと考えています(もちろん危機にも対応)。

先に記したようなこの間の苦難の経験が、非常に参考になります。中島薬局の閉鎖・仮店舗営業・新中島薬局開局という大変化を経て、しかし、お客様・患者様が変わることなく来局され、さらに新しいお客様まで来られるのはなぜなのだろうか。なぜ、そうなるのだろうか。中島薬局を構成するさまざまな部署のスタッフが、それぞれの役割に基づいて考えてみたい点です。

下に、2015年10月までのスケジュールを掲げました。

○中島薬局業務継続計画策定スケジュール／文化事業部(2014.4.10)

年	月	作業概要	作業細目
2014	5	BCP策定にあたっての考え方・方針・スタンス	①BCPとは／②BCPと経営計画の関係／③BCP体制を検討するための体制／④業務継続方針の決定
	6	業務の仕分け・考えられる危機事象	①計画の対象・組織／②危機事象の想定(概観)／③業務の洗い出し／④業務影響度分析／⑤非常時優先業務の選定
	7	危機事象に対処するに当たっての社内資源の分析・点検	①必要資源の分析／②人材／③施設設備／④電力・通信等インフラ／⑤執務環境／⑥情報システム／⑦消耗品／⑧資金(経営資源)
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
2015	1	業務の社外との関係、社会とのつながりの分析・検討	①業務の外部依存関係の分析／②業務プロセス分析／③社会環境の分析と予測／④医療供給体制／⑤地区の人口動態と年齢構成の予測
	2	課題の抽出と短期的・中長期的対策、日々の対応と実践	①課題の抽出と分類／②対策の検討／③短期的な対策と中長期的な対策／④対策実施計画の策定／⑤日々の実践と計画の絶えざる見直し／⑥PDCAサイクルの構築
	3		
	4		
	5		
	6		
	7	計画書とマニュアルの作成	①計画の文章化／②細部の見直しと修正／③データ化・ファイル化
	8		
	9		
	10	計画の完成	中島薬局BCPの完成・発表